

令和3年度 公開臨海実習（Aコース） 実施要項

- 授業科目
- 実施場所
- 実施期間
- 対象学生
- 定 員
- 担当教員
- 実習内容

海洋生物学実習 II (学部、2単位)

東北大学大学院生命科学研究科附属浅虫海洋生物学教育研究センター

令和3年8月30日(月)～9月6日(月)

国立・公立・私立大学の学部2～4年生

5名(応募者多数の場合抽選になります)

岩崎 藍子・藤本 心太(東北大学浅虫海洋生物学教育研究センター)

8月30日(月)：午後4時半までに浅虫教育研究センター学生実習室に集合し、その後ガイダンス。

8月31日(火)～9月5日(日) 実習(生態学コース/分類学コース)

9月6日(月) 朝食後解散

北の海、沿岸のフィールド生物学

海と陸の境界である潮間帯では狭い垂直範囲内で環境が急激に変わる。生物の分布はそのような環境勾配や生物間相互作用の影響を受けて決まっている。本実習では、潮間帯および潮下帯の生物を対象とし、生物の分布とそれを規定する要因に関するテーマについて、学生が実験動物の特性を生かした実験系を自発的に発展させながら、問題点を解明してゆく。それらの成果をもとにレポートの作成方法を実践する。本実習では2名の教員が以下の2つのサブコースを実施する。学生はその内の一つを選択し、実習期間を通して1つのテーマに取り組む。

生態学コース(担当:岩崎藍子)

1) 学生自身がグループを組み、主体的に研究目的を設定する。2) 目的に基づいて実験や観察を組み立てて、成果を出す。3) 最後にレポートや発表形式で成果を紹介し、グループ間で理解を深めよう。実習では、岩礁域を中心とした観察、生物採集を行い；例えば環境条件と生物群集の特徴との関係や、種間相互作用の実験といったテーマを自由に設定する。必要に応じて統計的な解析を行うこともできる。

分類学コース(担当:藤本心太)

砂浜から深海まで幅広く分布する砂泥の間隙環境には、メイオベントスと呼ばれる1ミリに満たない小型の底生生物が生息している。本コースでは、センター周辺に棲息するこれら微小な底生生物の多様性を明らかにすることを目指す(他のテーマを設定することも可能)。コースを通して様々な動物門(動物門、線形動物門、緩歩動物門、節足動物門、環形動物門、扁形動物門、紐形動物門、腹毛動物門、輪形動物門、顎口動物門など)の採集法、観察法、同定法を習得し、それぞれの動物の体のしくみや自然史についての理解を深める。

<感染症対策>

以下のような感染症対策を行います。

・以下に該当する方は実習への参加を許可しません。

緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の実施区域に居住する方

実習前の14日間に発熱等の体調に異常のあった方

実習前の14日間に海外渡航歴がある方

実習前の14日間に感染者や濃厚接触者と接触があった方

・宿舎では最大2名一部屋(カーテンによる部屋中央部での仕切りあり)とします。

・施設の入り口付近に体温測定器を設置し、利用前の発熱者有無を毎日確認します。

・施設内では、マスクの着用、うがい手洗い、共有物の消毒、換気を徹底します。

・実験、食事、入浴時はsocial distanceを徹底

詳細については別紙「他教育研究機関の実習用外部利用受け入れについて」をご確認ください。また、状況が変わること可能性がありますので、参加前に必ず施設のウェブサイト

(<http://www.biology.tohoku.ac.jp/lab-www/asamushi/index.html>) で最新情報をご確認ください。参加に当たっては、感染防止対策を遵守願います。

8. 参加費用 授業料は徴収しません。実習期間中の食事（昼食と夕食のみ提供）の代金として1日約2,000円がかかります。朝食は宿舎食堂では提供しません（近所にコンビニがあります）。宿泊は原則として構内の学生宿舎を利用します。費用は寝具クリーニング代（410円、1回）のみで、宿泊費は免除されます。構内の学生宿舎には収容人数の制限がありますので、受講生数が多い場合は、日程の変更・調整やセンター外の宿泊施設の利用をお願いする場合があります。その際は改めて連絡します。
9. 受講の可否は決定後（7月中旬までに）E-mailで連絡します。
10. 問合せ先

〒039-3501 青森市浅虫坂本9番地
東北大学大学院生命科学研究科
附属浅虫海洋生物学教育研究センター
Tel 017-752-3388 Fax 017-752-2765
e-mail aiko.iwasaki.a8@tohoku.ac.jp
Web Site <http://www.biology.tohoku.ac.jp/lab-www/asamushi/>

11. 参考

- 東北大学浅虫海洋生物学教育研究センター
<http://www.biology.tohoku.ac.jp/lab-www/asamushi/>
- 全国臨海・臨湖実験所ホームページ
<http://www.research.kobe-u.ac.jp/rcis-kurcis/station/plan2.html>

令和3年 月 日

特 別 聽 講 学 生 願 書

東北大学理学部長 殿

大学及び学部名 大学 学部
学科及び学年 学科 年
学籍番号
(ふりがな)
氏名 印
生年月日・性別 年 月 日 生 男・女
電子メールアドレス @
携帯電話番号
.....

下記のとおり、貴学部の授業科目を履修したいので、関係書類を添えてお願いします。

記

1. 履修希望期間 海洋生物学実習Ⅱ
令和3年8月30日(月)～9月6日(月)

2. 授業科目・単位・担当教員等
・授業科目 海洋生物学実習Ⅱ
・単位 2単位
・担当教員 岩崎 藍子・藤本 心太
・年度・期別 令和3年度・前期

3. 現住所 〒
Tel. *上記携帯と同じ場合は記入不要

4. 保護者連絡先
(住所・氏名・続柄)
〒
氏名 (続柄)
Tel.

5. 在籍大学の指導教員
氏名
Tel.

推 薦 書

大学及び学部名 大学 学部
学科及び学年 学科 年
学籍番号
(ふりがな)
氏名 印

上記の者は、単位互換制度による特別聴講学生として、貴学部が令和2年度に開講する科目「海洋生物学実習Ⅱ」を受講することが適當と認め、推薦します。

東北大学理学部長 殿

令和3年 月 日
学部長名・職印

他大学の公開臨海・臨湖実習受講歴

受講希望者名.....

所 属 _____.

受 講 歷

記入例

実施大学名	施設名	年度
東北大学	浅虫海洋生物学教育研究センター	R. 3